

DTC 解説

DTC P2648: VTEC スプール SOL.V. 電圧低い

検知原理解説



01_P2648C_TM8A10

VTEC スプール SOL.V. は、PGM-FI ECU からの指令により SOL.V. を開閉させ、VTEC 機構にかかる油圧を変化させることによりバルブ タイミングを切替えている。
PGM-FI ECU は、VTEC スプール SOL.V. の駆動信号を出力すると同時に、PGM-FI ECU 出力端子電圧レベル (リターン信号) の状態も監視している。リターン信号が異常な状態で設定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	2.0 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリー電圧]	10.0V	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P2649	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

VTEC スプール SOL.V. へ ON の信号を出力しているにもかかわらず、リターン信号が OFF の状態で 2.0 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU と VTEC スプール SOL.V. 間コード (VTS ライン) の地絡
- ・ VTEC スプール SOL.V. の故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

インスペクション メニュー内の VTEC テストを HDS で実行する。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動し、ラジエータ ファンが 2 回作動した後、さらに無負荷 3,000rpm で 2 分間以上暖機運転する。
2. 車速 [車速]10km/h 以上かつエンジン回転数 [エンジン回転]5,200-5,400rpm の一定速度で 2 秒間以上走行する。
 - ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。